

|    |            |    |     |
|----|------------|----|-----|
| 項目 | 新たな森づくりの推進 | NO | 3-1 |
|----|------------|----|-----|

|     |           |       |                 |
|-----|-----------|-------|-----------------|
| 事業名 | やまがた緑県民会議 |       |                 |
| 事業費 | 1,229 千円  | 担当部局課 | 環境エネルギー部 みどり自然課 |

## 1 目的

やまがた緑環境税を活用する施策を適正かつ効果的に進めるため、次の業務を担う外部委員の第三者機関として設置。

- ① 基金充当事業の効果についての評価、検証
- ② 施策等の制度・仕組みの点検、見直しに関する協議
- ③ 公募事業の内容の審議、採択の可否についての意見の具申
- ④ 新たな森づくりの普及啓発の推進 など

## 2 事業概要

### ■やまがた緑県民会議の開催（4回開催）

（第1回：6月4日、第2回：10月7日、第3回：2月18日、第4回：3月22日）

#### 第1回：6月4日

- ・やまがた緑環境税の概要
- ・平成26年度税活用事業の実績
- ・平成27年度税活用事業の計画等

#### 第2回：10月7日

- ・平成27年度税活用事業の取組状況
- ・平成28年度税活用事業の考え方
- ・現地調査（置賜管内の森林整備及び公募・交付金事業実施状況）
- ・やまがた緑環境税制度の評価・検証

#### 第3回：2月18日

- ・やまがた緑環境税制度の評価・検証

#### 第4回：3月22日

- ・平成27年度税活用事業の評価検証 ・平成28年度税活用事業の概要
- ・平成28年度公募事業の審査 ・平成28年度森林整備事業の実施計画
- ・やまがた緑環境税制度の評価・検証

## 3 成果と課題

### 【成果】

- ・やまがた緑県民会議による税事業の評価・検証により、透明性の高い事業執行がなされている。

### 【課題・対応】

- ・引き続き、税事業に係る評価検証の内容の透明性を確保していくうえで、ホームページ上で情報公開していくほか、事業効果や目標の達成状況などについて、多様な広報媒体を通じて情報発信し、県民の理解向上を図っていく。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成 27 年度やまがた緑県民会議の取組事例】

第 1 回県民会議（私学会館 6 月 4 日）



会議状況

第 2 回県民会議（白鷹町文化交流センター「あゆ一む」文化伝承室・現地調査 10 月 7 日）



会議状況



現地視察



現地視察

第 3 回県民会議（県庁講堂 2 月 18 日）



会議状況

第 4 回県民会議（県庁講堂 3 月 22 日）



会議状況

|     |                 |       |                 |
|-----|-----------------|-------|-----------------|
| 項目  | 新たな森づくりの推進      | NO    | 3-2             |
| 事業名 | みどりの循環県民活動推進事業費 |       |                 |
| 事業費 | 7,754 千円        | 担当部局課 | 環境エネルギー部 みどり自然課 |

## 1 目的

### ① みどりの循環県民活動の推進

植樹や間伐、木製品や木質バイオマスエネルギーの利用など「森を守り、育て、暮らしに活かす緑の循環システム」を体験できるメニューにより、森と暮らしのつながりを感じる取組みを年間を通して進めていく。

### ② やまがた緑環境税の普及啓発

やまがた緑環境税に関する普及啓発を実施する。

## 2 事業概要

### ① みどりの循環県民活動の推進

- ・ 「やまがた森の感謝祭2015」の開催（6/6 金山町 山形県遊学の森）
- ・ 地区感謝祭の開催
  - 村山地域森の感謝祭（9/27 天童市 天童高原）
  - 置賜地域森の感謝祭（9/19 川西町 川西ダリヤ園）
  - 庄内森とみどりのフェスティバル（10/17～18 鶴岡市 小真木原運動公園）  
（10/30～11/1 酒田市 国体記念体育館）
- ・ 森のホームステイ事業（4月～3月）
- ・ 間伐体験会及び森林のエネルギー見学会（10/12 11/3）
- ・ 木エクラフト体験会（10/17～18 10/24～25）
- ・ 森づくりリレーの実施（6月～12月）

### ② やまがた緑環境税の普及啓発

- ・ シンボルマーク焼印入りコースター、間伐材製品の作製（授産施設にて製作）700個アンケートで活用
- ・ 県広報媒体を活用した広報・周知  
（YBC「やまがたサンデー5」（7/26）、「森林やまがた」）
- ・ 山形県林業まつりでのPR（10/17～18）
- ・ やまがた環境展でのPR（10/24～10/25）
- ・ 県内公共施設等や大型ショッピングモールでの展示・PR
- ・ 広報誌「もりしあ」の発行・配布（B5判 年2回、18,000部/回）

## 3 成果と課題

### 【成果】

- ① 森と暮らしのつながりを感じる体験イベントに、多くの県民の方に参加していただき、森づくりの大切さについて実感してもらえた。
- ② 緑環境税の趣旨や活用事業をわかりやすく掲載した広報誌「もりしあ」を発行部数を増やし、銀行、などに置いて税の趣旨や税を活用している事業を県民に対して広く普及啓発を行った。

### 【課題・対応】

今後も県民への効果的な普及啓発を行なうため、常設展示場所の確保や間伐材の啓発グッズなどに置いて税の趣旨や税を活用している事業を県民に対して広く普及啓発を行った。

また、市町村との連携を密にして、イベントや広報誌を通して環境税の周知を図る。



▲森のホームステイ

森で採取したドングリや稚樹  
職場などで2年間育ててもらい、再び森に返す

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年みどりの循環県民活動推進事業の取組み事例】

やまがた森の感謝祭と各地域の森の感謝祭



みどりの循環利用推進宣言



森・川・海の生命のリレー



森づくり活動

- ▲やまがた森の感謝祭 2015 6月6日 「山形県遊学の森」(金山町)
- ▲村山地域森の感謝祭 9月27日 「天童高原」(天童市)
- ▲置賜地域森の感謝祭 9月19日 「川西町ダリヤ園」(川西町)
- ▲庄内森と緑のフェスティバル 10月17日～18日 「小真木原運動公園」(鶴岡市)
- 10月31日～11月1日 「国体記念体育館」(酒田市)

みどりの循環県民活動推進事業

森を守り・育てる

暮らしに活かす



- ▲間伐体験会  
10月12日、11月3日  
山形市八森で実施  
・95名参加



- ▲ペレット工場(寒河江市)  
・家庭用ペレットストーブ(山形市)11月3日に見学  
・37名参加



- ▲木エクラフト体験  
・林業まつり  
(10月17日～18日)  
・やまがた環境展  
(10月24日～25日)



その他、森の感謝祭、地域感謝祭などで実施

森のホームステイの実施



- ▲普及啓発  
広報誌「もりしあ」の発行



- ▲森のホームステイ  
森で採取したドングリや稚樹を家庭や学校、職場などで2年間育ててもらい、再び森に返す活動です

森づくりリレー旗の実施



- ▲森づくりリレー  
やまがた森の感謝祭2015をスタートに、県内各地の森づくり活動をつなぎます



|    |            |    |     |
|----|------------|----|-----|
| 項目 | 新たな森づくりの推進 | NO | 3-3 |
|----|------------|----|-----|

|     |                |       |                 |
|-----|----------------|-------|-----------------|
| 事業名 | 森づくりサポート体制推進事業 |       |                 |
| 事業費 | 15,796 千円      | 担当部局課 | 環境エネルギー部 みどり自然課 |

### 1 目的

- ① 県民参加の森づくり活動を総合的に支援する。
- ② 森林ボランティア及び森林環境学習等を推進する人材を育成する。

### 2 事業概要

- ① 森づくりサポート体制推進事業  
 (やまがた公益の森づくり支援センターに業務委託)
  - (1) 森林ボランティア団体の活動の支援業務
    - ・ 森林ボランティア団体への支援  
 (安全研修会、交流研修会、森づくり活動報告会、テーマ助成団体への支援)
    - ・ 森林ボランティア団体との連携  
 (指導者派遣・ネットワーク化の支援)
  - (2) やまがた絆の森づくり運動の推進業務
    - ・ やまがた絆の森づくり運動 (企業への支援)  
 (森づくり活動支援、活動候補地パンフレット作成、普及啓発活動)
  - (3) 共通事項
    - ・ 森づくり指導者ステップアップ支援業務  
 (ステップアップ研修会、実践研修)
    - ・ 森づくり指導者マッチング促進業務  
 (要望調査、指導者の勧誘)
    - ・ 新たな森づくり活動支援  
 (C02認証制度のサポート支援、森のホームステイイベントの開催)
    - ・ 森づくりに関する情報収集及び提供 (主にHPIによる)  
 (活動情報、イベント情報、機材等情報、相談窓口の設置)
- ② 森づくり支援人材育成事業  
 (山形県森林研究研修センター実施)
  - ・ 森林入門研修  
 (森林入山に必要な基礎的知識の習得)
  - ・ 森林専門研修  
 (森林案内に必要な知識や作法の習得)
  - ・ 森林実践研修  
 (安全な森林整備等に必要な技能の習得)

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- ① 森づくり活動報告会の開催により森づくりの輪が広がった。
- ② 森林ボランティア団体等の活動を支援するための人材(森づくりサポーター)を育成。(研修会の開催2回)

#### 【課題・対応】

- ① 団体間のネットワークを構築し、相互に協力し合える体制の整備や中間支援団体の育成を図る。
- ② 森づくりサポーターの活動を支援する仕組みを構築し活動の促進を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成27年度森づくりサポート体制推進事業の取組事例】

森づくりサポート体制推進事業

森林ボランティア団体の活動支援



森づくり活動安全研修会



森づくりセミナー&活動報告会

やまがた絆の森づくり運動の推進



企業の森づくり活動支援



パネル展示

森づくり指導者の育成



森づくり指導者ステップアップ研修会

森づくり活動に関する情報発信(HP)



森づくりカレンダー

今月のイベント(2016年2月)

| 日       | 内容                                |
|---------|-----------------------------------|
| 2/20(日) | やまがた祝祭「やまがた、あなたの心像」やまがたにゆかりのある祭   |
| 2/26(木) | 平成の野風会林・林業技術交流委員会(44回)            |
| 2/27(金) | 定例セミナー「山林の認知度向上の推進と木材の供給」         |
| 2/28(土) | 林業青年育成委員会「へっさけ」の品揃えの充実、日本の若林・林業へ」 |
| 2/28(土) | やまがたでワークショップ「山形県産木材の活用促進委員会」      |
| 2/28(土) | 真が変われど、アフリカとアジアの森林をめぐろう           |
| 2/28(日) | ベトナムの森林ボランティアと山形県ボランティアでつながろう     |
| 2/28(日) | 鳥居川二ノ宮水林ワークショップ                   |

開催地区  
村山地区(24町)  
鶴ヶ島地区(22町)  
庄内地区(17町)  
蔵外(24町)

開催月  
開催年



## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度森づくりサポート体制推進事業  
(森づくり支援人材育成事業)の取組事例】

○地域コミュニティでの森林保全活動や森林環境学習を推進するための人材(森づくりサポーター)を育成する。

### 森づくりサポーター育成(森林入門)研修

◆開催日 平成27年9月19日(土) 1名参加

◆場 所 県立自然博物園・森林研究研修センター試験実習林

○奥山林と里山林の更新方法と人とのかかわりの違いを学ぶほか、森林活動におけるリスクマネジメントを実習する。



ギャップ形成から始まる奥山の天然更新



人の伐採利用から発生した里山二次林



活動事故の対処法シュミレーション

### 森づくりサポーター育成(森林専門)研修

◆開催日 平成27年8月8日(土)~9日(日) 6名参加

◆場 所 森林研究研修センター試験実習林・幸生小友遊の森

○森林環境教育の手引きのアクティビティを実践し、森林環境学習の進め方を学ぶ。



講義「森林環境教育のための森づくり」



Act「落ち葉めぐり」



Act「葉っぱじゃんけん」

### 森づくりサポーター育成(森林実践)研修

◆開催日 平成27年10月31日(土)~11月1日(日)

※ 参加該当者がなかったため未実施

◆場 所 森林研究研修センター研修館・試験実習林

○ 森づくり活動に必要な技能、安全なチェーンソー操作技術を身につける。(写真はH26のもの)



チェーンソーの正しい操作



チェーンソーの点検整備



伐木実習

### 研修コンプリートバッジ

○研修修了者には県産ヒノキ材のバッジを進呈。  
緑・黄・赤・青の葉っぱがそれぞれの研修修了の証です





|     |            |    |     |
|-----|------------|----|-----|
| 項 目 | 新たな森づくりの推進 | NO | 3-4 |
|-----|------------|----|-----|

|     |                |       |       |
|-----|----------------|-------|-------|
| 事業名 | 森林の水源涵養機能の理解促進 |       |       |
| 事業費 | 248 千円         | 担当部局課 | 環境企画課 |

## 1 目 的

水資源の保全と森林の水源涵養機能の維持の大切さについて広く県民の理解を図り、森林整備や森づくり活動などの取組みを推進する。

## 2 事業概要

○水と森の保全に取り組む県の施策や民間の活動の紹介等を通じて、水資源及び水資源を育む森林を保全し、将来に伝えることについて考える機会とするため、県内事例の発表及びパネルディスカッション等を内容とした「美しい水と森のフォーラム」を県内2か所で開催した。

【最上・庄内】平成27年11月24日(火) 庄内町響ホール 《参加者：53名》

(事例発表) やつめがわあさひびき  
八ツ面川朝日堰流域水路管理組合[遊佐町]組合長 三浦隆昭氏  
ブナの実21[舟形町]事務局長 大山邦博氏

(パネルディスカッション) 大岩敏男氏、山田寛爾氏(以上、県環境アドバイザー)、事例発表者

【村山・置賜】平成27年11月26日(木) 生涯学習センター遊学館 《参加者：51名》

(事例発表) 美しい山形・最上川フォーラム清流・環境対策部会長 菅原幸司氏  
NPO法人ひびき[白鷹町]理事長 小林真氏

(パネルディスカッション) 佐藤五郎氏(県環境アドバイザー)、白壁洋子氏(森の仲間たち主宰)、事例発表者

○「美しい水と森のフォーラム」及び「やまがた環境展2015」において、水資源保全に関わるパネルを展示し、県民の水資源及び森林の水源涵養機能についての啓発を図った。

## 3 成果と課題

### 【成果】

○美しい水と森のフォーラムにおいて、県内2会場の合計で100名を超える参加者があったとともに、水資源に関わるパネル展示により、水資源の重要性及び森林が有する水源涵養機能の重要性の理解の向上が図られた。

### 【課題】

○より幅広い県民を対象として、水源涵養機能などを分かりやすく解説した素材の活用により普及啓発を実施する必要がある。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 27 年度森林の水資源涵養機能の理解促進の取組事例】

水資源の保全や森林の水資源涵養機能に関する「美しい水と森のフォーラム」を開催

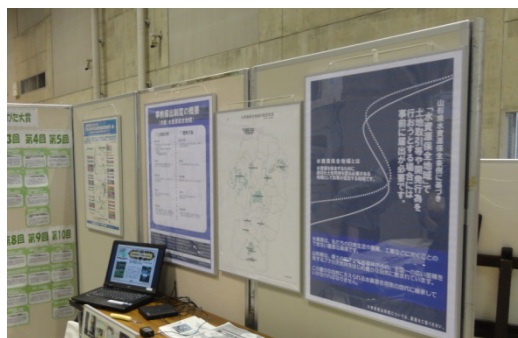


【美しい水と森のフォーラム（村山・置賜地域）(H27. 11. 26)】

「美しい水と森のフォーラム」及び「やまがた環境展 2015」で水資源保全のパネルを展示



【美しい水と森のフォーラム（最上・庄内地域）  
(H27. 11. 24)】



【やまがた環境展 2015 (H27. 10. 24~25)】

|    |            |    |     |
|----|------------|----|-----|
| 項目 | 新たな森づくりの推進 | NO | 3-5 |
|----|------------|----|-----|

|     |              |       |        |
|-----|--------------|-------|--------|
| 事業名 | やまがた緑環境税広報事業 |       |        |
| 事業費 | 324 千円       | 担当部局課 | 総務部税政課 |

### 1 目的

やまがた緑環境税について広く県民に周知し、やまがた緑環境税基金を活用した事業の必要性及び重要性を啓発する端緒とする。

### 2 事業概要

タウン情報誌「月刊山形ZERO☆23」に広告掲載し、やまがた緑環境税について広く県民に周知を行った。

広告掲載誌：月刊山形ZERO☆23（株式会社アイ・エム・シイ 発行）  
広告掲載号：2015年10月号（平成27年9月27日発行）  
広告スペース：裏表紙（縦270mm×横184mm）  
発行部数：14,000部

### 3 成果と課題

#### 【成果】

やまがた緑環境税について、購読者の多くが若年層であるタウン情報誌「月刊山形ZERO☆23」に広告を掲載し、本税の認知度の低い若年層を主対象として広く県民に周知を行うことができた。

#### 【課題・対応】

引き続き、本税の認知度の低い若年層への重点的な広報を行う必要がある。



## やまがた緑環境税を活用した取組み

### 【平成27年度やまがた緑環境税広報事業の取組事例】

やまがた緑環境税について、購読者の多くが若年層であるタウン情報誌「月刊山形 ZERO☆23」に広告を掲載し、本税の認知度の低い若年層を主対象として広く県民に周知を行った。(2015年10月号(平成27年9月27日発行)に掲載)

【参考】「月刊山形 ZERO☆23」広告原稿(原寸サイズ:縦270mm×横184mm)

山形県

# 県民みんなで 支える森づくり

やまがた緑環境税を活用した森林環境学習の様子  
(鮎川村立鮎川小学校)

## やまがた緑環境税

【 荒廃が進む森林の整備や、県民参加による森づくり活動に取り組むことなどを目的として、県民の皆様から広くご負担いただくものです。】

税額/個人…年1,000円 法人…年2,000円～80,000円(資本金等の額による)

おうちで森を育てよう!

**森のホームステイ** ご家庭でブナやナラなどを育ててみませんか? 育てた苗木は森に返し、森づくりに活かされます。

やまがた緑環境税の見直しに関するアンケートを行っています!  
皆さんの御意見を聞かせてください。

**配布イベント** 山形県林業まつり 開催日:10月17日(土)・18日(日) 場所:山形県総合運動公園  
やまがた環境展 開催日:10月24日(土)・25日(日) 場所:山形ビッグウイング  
※数に限りがありますので、ご了承ください。

森のホームステイ「私の観察日記」 育てている様子を投稿し、県ホームページで紹介してみませんか?

山形 森のホームステイ